

第1学年 I L C 講演会

東北 I L C 協議会は、素粒子物理学のさらなる発展を目指し、岩手県の北上山地に最先端の大型線形加速器（国際リニアコライダー＝I L C）を建設するための環境を整備するとともに、素粒子物理学の体系的な説明や I L C の研究内容・意義などについての講演を東北各地で行っています。

本校では「山西リケジョ・プロジェクト」への取り組みにより、理系分野への興味・関心の高揚を図っています。その一環として、11月1日（火）午後、1年生を対象として「I L C 講演会」を本校体育館で開催しました。講師として、我が国の素粒子物理学の第一人者である 岩手大学理工学部 成田晋也教授 をお招きして、「宇宙の謎に迫る国際リニアコライダー」と題して講演いただきました。

成田先生は、自然の本質を解き明かすために物理学を専攻し、さらに物質や宇宙の成り立ちを研究するため、素粒子物理学に力を注いでいらっしゃいます。素粒子の超高精度での測定により、宇宙誕生の謎に迫るだけでなく、粒子線を用いる様々な分野、例えば医療分野などで応用できることを、分かりやすく説明してくださいました。東北地方に I L C が建設されることにより、東北が世界の最先端科学技術の拠点になるとともに、東北から新しい産業が生まれることが期待されます。将来は、現在本校で学んでいる生徒たちの中から、I L C で活躍する人が現れるかもしれません。

成田先生は、最後に「好奇心・知識欲を大切に」「自ら考えることが、新しいアイデアを生み出すことにつながる」と、これからの未来を担う生徒たちにエールを送ってくださいました。成田先生、お忙しい中御講演をしてくださり、ありがとうございました。先生のますますの御活躍を祈っております。

